



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

# まほろば

## 社協広報

第39号



〔写真〕 小坂生涯学習センターにて（1月20日撮影）

## 「ふれあい寄席」大盛況!

～落語をとおして地域づくりを～

地区公民館役員の皆さんと山形村社会福祉協議会が協働して「ふれあい寄席」を開催しました。お隣り近所で声をかけ合い、誘い合って大勢の方々が足を運んでくださいました。会場はほぼ満員。身体を寄せ合って笑うことで、心身ともに温まりました。

- 山形村福祉のつどい 開催! ..... 1・2
- まほろばトピックス～よもやま話～ ..... 3～5
- デイサービス通信 ..... 3
- 平成19年度協議会会費（賛助・特別）納入結果 ..... 6
- 不要な入れ歯を寄付してください! ..... 7

# 平成19年度

# 山形村福祉

## メインテーマは「災害時



去る2月16日、山形村保健福祉センターで、平成19年度「山形村福祉のつどい」が開催されました。

今回は、「災害時に活かせる日頃の地域づくり」と題して、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員（中央共同募金）・子供たちの笑顔が広がる地域とくらしを創るNGO JPCom代表の桑原英文氏の講演会が開かれました。防



## 講演会

### “防災とは言わない防災活動”の 取り組みで「つながり力」を高める!

「災害や緊急事態が発生しても被害が無いように、大きくならないように、日頃から防くための『足し算』=防災と減らすための『引き算』=減災をしておくこと」

桑原氏は、阪神・淡路大震災で家屋倒壊や家財の下敷きによって多くの犠牲者が出たこと、一時生き埋めになったが家族や近隣住民、通行人の協力により命が救われたことなどをお話しされました。

家屋を耐震にすることや家財を固定することで、たった一人の命を救うことができ、また、普段のつながり・支え合いにより、もう一人の命をみんなの力で救うことができることを再認識しました。

他にも、日常の地域福祉力や市民の「つながり力」を高めるために、防災活動を運動会の種目に取り入れるなど、ユーモアのあるアイデアを提案してくださいました。



## 福祉活動功労者の表彰

同日午後1時半から開催された式典の席で、山形村社会福祉協議会会長表彰が行われ、福祉活動功労者に対し表彰状が贈られました。

表彰状が贈呈されたのは、次の方々です。

### ■福祉活動功労者（表彰状の贈呈）

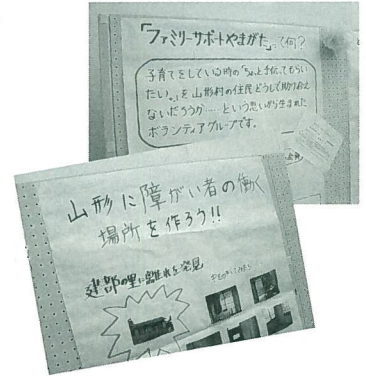
- 逢澤佳丸 様／民生委員・児童委員関係
- 前田愛子 様／民生委員・児童委員関係
- 松岡 昇 様／民生委員・児童委員関係
- 小林嘉宣 様／民生委員・児童委員関係
- 籠田豊里 様／民生委員・児童委員関係
- 中村高康 様／遺族会関係
- 中川俊哲 様／身体障害者福祉協会関係



# の つ ど い 開催！

## の福祉救援と共助活動」

災についての基礎知識を分かりやすく解説していただくとともに、被害を最小限に抑えるための日頃の取り組みの必要性について指導していただきました。その他、センター内では、各種活動展示、赤十字奉仕団によるバザー、親子ふれあい交流イベントとしてリトルシアター（人形劇・パネルシアター）と軽スポーツコーナーが設けられ、大勢の人がいちいの里につどいました。

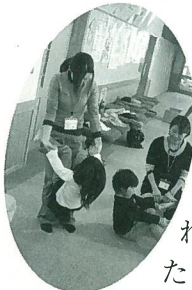
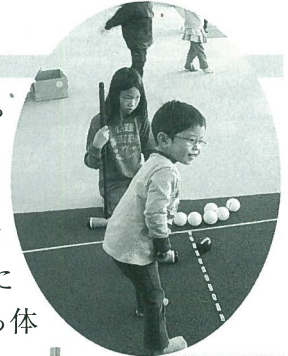


### みんないい顔、楽しいわ！親子ふれあい交流イベント

#### 軽スポーツコーナー



第2会場の保健センターでは、大勢の親子連れやお友だちに室内ゲームを楽しんでいただきました。この日用意しました囲碁ボール、スカットボール、ナンバーストライク、ポケネットなどはだれでも簡単にできる軽スポーツで、参加した皆さんはすぐに



使い方を覚えて、仲良く交代しながら体験していました。子どもたち同士の楽しい交流や、親子のふれあいの場になったことでしょう。



#### リトルシアター

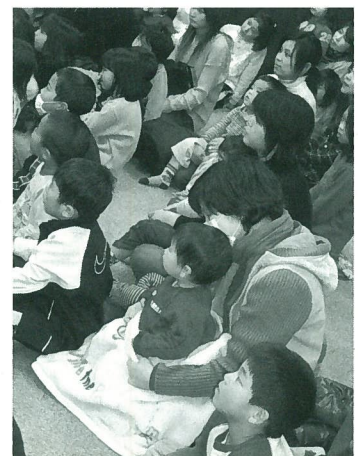
リトルシアターでは、クレヨンママの皆さんによるパネルシアターや、人形劇サークルてぶくろの皆さんによる人形劇がありました。会場には大勢の方が来てくださり、子どもたちは始まる前から楽しみにしている様子でした。

さあ開演！ 子どもたちはすぐに話の中に引き込まれ、中にはお母さんから離れて顔見知りのお友だちと食い入るように観ている小さなお子さんもいました。



途中には、子どもたちがお絵かきをするコーナーや山形じゃんずらの花火のパネルシアターが登場するな

ど、工夫が凝らされた内容に、子どもたちは大満足な様子でした。





## べあふる一つ

# “はらぺこあおむし”とやまのご保育園に行く

### 音楽とお話でふれあいと交流を

山形村内の福祉施設や児童施設で、音楽やお話などの活動を中心にイベントを企画・プロデュースしようという取り組みが始まりました。まずは、子どもたちの

笑顔がみたい一心で、やまのご保育園でパネルシアターを企画してみました。

題材に選んだ作品は子どもたちも大好きな『はらぺこあおむし』（作・絵 エリック・カール／訳 もりひさし）。「子どもたちに馴染みのあるこの絵本を楽しく観てもらうには、どうしたらよいか」。メンバーそれぞれ意見を出しあい、不織布を使った絵の制作、シナリオづくりから始めました。村内で読み聞かせやパネルシアターで活動されている方にも加わっていただき、適切なアドバイスを頂戴しました。

イベント当日は快晴で、園児たちは外で走り回り、なかには組み立てられたステージが気に入り、お部屋ののぞきこむ子の姿も。時間になると大勢の園児が集まり、ワクワクした表情でステージを楽しんでくれました。

『はらぺこあおむし』のコミカルな動きとお話に引き込まれ、お話が終わったあともぬいぐるみと握手をする姿が印象的でした。

今後は、プロジェクト名を「べあふる一つ」として、山形村内・村外からメンバーを募り活動していく計画です。この「べあふる一つ」は英語の“bear fruits”

= 「実を結ぶ」を名前の由来としています。

この取り組みが実を結び、皆さんの印象に残るように、また、ふれあいと交流の機会となるように活動していきたいと思ひます。



## デイサービス通信 1

三寒四温、少しずつ春が近づき嬉しいこの頃です。日頃、

いちいの里の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

今回より「デイサービス通信」と題しまして、デイサービスの現場での取り組みと、できごとをご紹介します。

さて、デイサービスセンターいちいの里では、毎月月末に誕生日会を行っておりますが、昨年暮れより誕生日会に合わせ、音楽ボランティアの方をお願いして会を盛り上げていただいております。

2月は詩吟と尺八、ピアノとギター演奏会が行われました。詩吟は、昨年NHK大河ドラマで脚光を浴びた「川中島」など、朗々とした歌声を聞かせていただきました。また、「靴が鳴る」「夕焼け小焼け」「春の小川」など尺八の深い音色に、皆さんは耳を傾け聞き入っていらっしゃいました。

ピアノ演奏は、有名なクレイダーマンの「渚のアデリーヌ」をオープニングに、利用者の方にもなじみの深い「ふるさと」「信濃の国」が演奏され、一緒に口ずさまれていました。最後はピアノの伴奏に合わせ、職員一同（自称「いちいの里合唱隊」と呼んでいます）で「ハッピーバースデー」を合唱しました。ケーキに灯されたろうそくを吹き消し、利用者の方にはいつも以上に思い出に残る誕生日会になったことと思ひます。

デイサービスセンターいちいの里では、この他にギター、ハーモニカ、アルパ、歌など音楽ボランティアの皆さん、その方々を支える音響ボランティア、お話相手、入浴後の髪を乾かしてくださるボランティアの皆さんの善意に支えられ、新たな一歩を踏み出そうとしています。



区・民・み・ん・な・で

笑って 笑って

# 「ふれあひ寄席」



～地域ふれあい交流イベント開催～



山形村社会福祉協議会は、「ふれあい交流イベント」等を企画し、地域づくり・福祉づくり・健康づくり・そして生きがいを旨とした住民主役の地域福祉活動をすすめることとしています。

地区ごとの活動では、昨年引き続き地域住民の皆さんをご招待して、1月には、小坂生涯学習センターを会場に「小坂ふれあい寄席」、3月には下竹田公会堂を会場に「下竹田ふれあい寄席」を公民館分館、社会部の方々と協働して企画・開催しました。各地区の皆さんは、ポスターの掲示やチラシの配布など、また当日は朝早くから会場のセッティング、機材の搬入、駐車場誘導などをおこない、来ていただくお客様が気楽に落語を楽しめるよう工夫され、本番を迎えました。

出演いただいたのは、ふれあい寄席ではおなじみの古今亭菊生師匠と前座の古今亭志ん坊さん、三遊亭玉々丈さん。「子ほめ」「親子酒」「権助魚」「鮑のし」など、テンポよい滑稽噺を聴き、出演者の扇子を使ったしぐさや表情にすっかり引き込まれた観客の皆さんは抱腹絶倒。

この日ご参加いただいた多くの皆さんに楽しんでいただくことができました。





## 建部の里だより やしょうま作りに奮闘、 打ちたてそばに舌鼓



建部の里では、季節の行事として3月7日にやしょうま作り、3月8日にそば打ち会を行いました。

やしょうまは、利用者の皆さんと職員が、ボランティアの方に教わりながら作りました。食紅を混ぜて色をつけた米の粉を棒状にして合わせ、のぼしていきます。この作業がなかなか大変ですが、それぞれ協力し合って芸術品のようなやしょうまが完成しました。

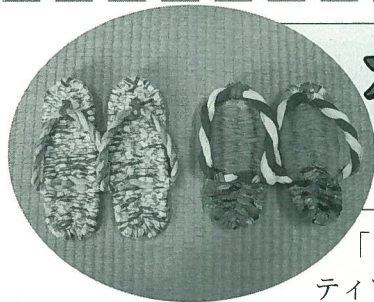
最近では、やしょうまを作る家庭も少なくなってきました。永く信州で受け継がれてきた味を堪能でき、貴重な体験となりました。

一方、そば打ち会では2名のボランティアの方が協力してくださり、そば打ちをしていただきました。建部の里の利用者や職員、ボランティアグループ「てまり」の皆さん、松本短期大学の学生さんなど、約30名の方々が集まって賑やかなそば打ち会となりました。普段あまりそばを食べないという利用者の方も、たくさん召し上がっていただきました。手作りの打ちたてはやはり一味違いますし、大勢で食べる楽しくて、いつしか箸も進みますね。

ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。



## 布ぞうりをつくってみました ~いきいきサロンの活動から~



「いきいきサロン」とは、身近な高齢者とボランティアの皆さんが自主運営する仲間づくり活動です。

その活動内容はさまざま、公民館等を利用して開催されています。

最近、「布ぞうりを作りたい」との声が多く寄せられました。布ぞうりとは、足にも床にもやさしい室内履きです。足の裏や指の刺激になり、足の変形を防ぐことができる、床を傷つけず滑らない、何度も洗えて清潔・丈夫、好きな素材や色の布を選ぶことができる、という利点があります。そこで、講師をお招きして3カ所のいきいきサロンで布ぞうりづくりをしました。



まずは土台づくりからです。各自持参していただいた布をロープに巻き付け、次に、巻き付けたロープを3本足の組台にかけて編んでいきます。鼻緒をつくり、土台に編み込んでロープを引いたら、あら不思議！ ぞうりの形になります。前つばを付け、飛び出している紐を始末して完成です。



一見難しそうですが、何度か挑戦するうちにすいすい編むことができました。皆さんは完成した布ぞうりに大満足の様子で、「履いてしまうのがもったいない」「今度は孫のために編んであげたい」との感想が聞かれました。

ご指導くださった講師の先生、ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

## 平成19年度／山形村社会福祉協議会会費(賛助・特別)納入結果

●山形村社会福祉協議会／賛助会員会費（1口／3,000円 平成20年3月17日現在）

賛助会員数	66人	加入口数	71口
-------	-----	------	-----

●山形村社会福祉協議会／特別会員会費（1口／10,000円 平成20年3月17日現在）

本年度納入口数／(50口)

5口	JA松本ハイランド山形支所 (株)ヤマジン	(株)小林創建	
3口	(株)オーイケ	サンリン(株)	
2口	森井自動車(株)	キヨミズ開発(有)	
1口	山形村商工会 平沢土建(株) (有)丸八種苗園 佐和工業 (有)親和住宅 山形診療所 そば処かみじょう (株)丸五山形食品 (有)島村板金 (有)横水石材店 (株)ハートウェル長野店	(有)花岡電子 (有)美野里 (有)山辺鉄工所 (株)川上建設 (有)タカヤマ住設 天理教信濃山形分教会 横山医院 小林自動車 松本信用金庫山形出張所 (株)井上アイシティ21店	日清医療食品(株) (有)松下建築 籠田工務店 宮原医院

(敬称略)

## 社協への寄附金等の紹介

【平成19年3月26日以降／敬称略】

- |                              |            |
|------------------------------|------------|
| ○大地母神 ぱちやまま                  | ○山形村民ゴルフ連盟 |
| ○古川寺観音奉賛会                    | ○百瀬 繁寿     |
| ○山形村赤十字奉仕団                   | ○山形小学校 児童会 |
| ○樋口 則子                       | グリーン委員会    |
| ○布目 しのぶ                      | ○籠田 清江     |
| ○西牧教室                        |            |
| ○大池 苔子                       |            |
| ○上條 明昭                       |            |
| ○長野県労働金庫 松本支店<br>運営委員会 (松本市) |            |

**合計298,057円**  
(商品券を含む)

【健康下駄 5足】

- 三村木工有限会社  
(朝日村)

【ハンドタオル 60枚】

- 匿名希望

# 世界の子どもたちを救おう

## 不要な入れ歯を寄付してください！

不要になった入れ歯の回収ボックスが保健福祉センターに設置されました

山形村とNPO法人（特定非営利活動法人）日本入れ歯リサイクル協会が契約を結び、不要になった入れ歯の回収を始めました。

入れ歯の留め金部分やブリッジなどには、貴重な貴金属が含まれています。この金属を集めてリサイクルし、その収益を地域福祉の充実や世界の恵まれない子どもたちの救済に役立てます。

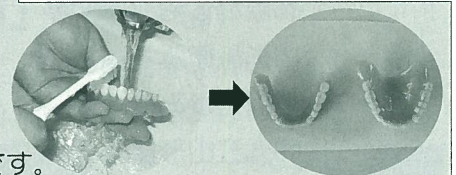
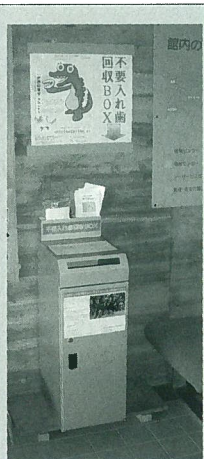
山形村は松本地方で初、県内では諏訪郡原村に次いで  
2番目の設置となります



入れ歯回収ボックス設置式の様子

### 不要になった入れ歯を 寄付する方法

- ①汚れを落とし、熱湯か入れ歯洗浄剤（除菌タイプ）で消毒をしてください。
  - ②備え付けの用紙にご住所、お名前をお書きください。（後日、礼状が届きます。匿名でも可）
  - ③ビニール袋に入れ歯と、記入した用紙を入れてご投函ください。
- ※回収できる入れ歯は金属の使われているもののみです。  
※入れ歯以外にも差し歯、歯にかぶせたクラウン、冠ブリッジ、歯につめたインレーも是非お願いします。



設置場所 山形村保健福祉センター 正面玄関内

## ボランティア保険 加入者募集!!

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中におこる様々な事故からボランティアの方々を補償する保険です。この保険は、年度ごとの加入が必要となりますので、以前手続きをされた方も再度手続きをお願いします。加入のお申込等については、山形村社会福祉協議会ボランティアセンター事務局までお願いします。

◆対象となるボランティア活動 \* 社会福祉協議会に登録しているボランティアグループまたは個人。

◆ボランティア保険補償期間 加入申込手続き完了日の翌日から平成21年3月31日(火)

《申込み／お問い合わせ》

山形村  
ボランティアセンター事務局

コミュニティハウス 建部の里  
☎97-1165 担当/小澤  
(いろいろ)

山形村社会福祉協議会事務局  
☎97-2102 担当/下川

まほろば (社協広報/第39号) 平成20年3月27日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (山形村保健福祉センターいちいの里内)  
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108

\*社協広報「まほろば」は、皆さんから寄附していただいた  
共同募金配分金を財源にして発行しています。

PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆油インクおよび再生紙を使用しています。